



オープンコラボ

中 1 英語総合 S

時制・未来の文など

生徒氏名 []

担当講師 []

≪ 現在時制 ≫

*現在時制(現在形、Present Tense)とは

現在時制は「今」という現実の時間を中心として、過去または未来を含んだ幅のある時間を表すのが普通で、「今」という一瞬を表すことは比較的まれである

☞ 現在形とは 『過去・現在・未来』 の全てを表すことができる

よって「今」という一瞬を表すことは比較的まれ

「今」という一瞬を表す=現在進行形(be+~ing)

*現在時制の表す意味

(1)現在の性質・状態

瞬間的な現在だけでなく、現在を中心にした持続的な性質・状態を表す場合が多い。主に be 動詞や have、継続的な性質・状態を表す動詞(live、belong など)、感情・知覚などを表す動詞である。

She lives in an apartment.

(2)現在の習慣的な動作・反復的な出来事

He usually gets up at six and eats breakfast at seven.

(3) 真理・社会通念

Water consists of hydrogen and oxygen. ※hydrogen 「水素」、oxygen 「酸素」

(4) 現在進行形の代用

Here comes our bus.

(5) 未来の代用

◇確定的な未来・予定

①時刻表やカレンダーなどに関連した記述

②変更のないと思われる予定

◇時・条件を表す副詞節の中

時・条件を表す(従属)接続詞

when 「～するとき」 / as soon as 「～するとすぐに」 / by the time 「～するまでには」

if 「もし～なら」 / unless 「～でない限り」

They start for Edinburgh tomorrow morning. ※Edinburgh 「エディンバラ」

(6) 現在完了の代用

I forget Mary's phone number.

(7) 過去の代用

引用、新聞の見出し、歴史的現在(物語などで、出来事が目の前で起こっているかのように描写するようなものを指す)

It says in the Bible, "Love your enemies." ※the Bible 「聖書」

《 進行形 》

* 現在時制と現在進行形(Present Progressive)の違い

現在時制	・・・現在の一般的事実・習慣
現在進行形	・・・現時点での一般的な現象・活動

* 進行形にしない動詞

(1) 状態を表す動詞

事物の状態や構成を表す動詞はふつう進行形にしないで用いる。ただし、永続的、本質的なことについて言っている場合で、そうでない場合には進行形になるものもあるので注意が必要となる

be , belong , consist , contain , depend , deserve , differ , equal , exist , have , involve , own , possess , remain , resemble , suffice など

(2) 知覚・心の動きを表す動詞

hear , see , smell , **taste** , believe , dislike , doubt , hate , imagine , know , like , love , prefer , remember , suppose , think , understand , want , wish など

⇒要するに、進行形にできないものは簡単に中断・再開できないものである

反対に、簡単に中断・再開できるものは進行形にすることができる

< 問題 >

以下の文が正しければ①に、間違いであれば②にマークしなさい。

She is tasting the wine.

①○ ②×

※現在進行形が未来を表すことができる理由

I **am going** to Paris next week.

公的なスケジュール(時刻表など)・・・現在形(p.2 を参照)

私的なスケジュール(個人的予定)・・・現在進行形

①来週パリに出発するために航空券を購入する

②パリのガイドブックをはじめ、旅行に必要なものも購入する

③荷造りをしながら、パリの空港に着いてからのことを想像する...等等

頭の中ではパリでの旅行の真っ最中・・・さまざまに物事が進行している

という構図である

A series of horizontal dashed lines for writing.

《時や条件を表す副詞(Adverbs)節》

He **will** tell her the truth **when** he sees her tomorrow.

(明日彼女に会ったら、彼は彼女に真実を述べるだろう)

Are you **going to** stay home **if** it rains tomorrow?

(明日雨が降れば、あなたは家にいるつもりですか)

- * 「時・条件」を表す副詞節の中ではたとえ未来のことであっても**現在形で表す**
(未来形は現在形で表し、未来完了形は現在完了形で表す)

時・条件を表す(従属)接続詞

when 「～するとき」 / as soon as 「～するとすぐに」 / by the time 「～するまでには」
if 「もし～なら」 / unless 「～でない限り」

- * (従属)接続詞を文中で発見したならば、以下の語順を予想しよう

1. (接続詞+S+V)、S+V
2. S+V (接続詞+S+V)

- ※イギリスの劇作家、シェイクスピア(1564～1616)からこれを理解する
シェイクスピアの時代では、上記の例文は以下のように表現

He **will** tell her the truth **when** he see her tomorrow.

(明日彼女に会ったら、彼は彼女に真実を述べるだろう)

Are you **going to** stay home **if** it rain tomorrow?

(明日雨が降れば、あなたは家にいるつもりですか)

当時、(従属)接続詞である if や when が作る副詞節の中では、動詞は**原形**が使用。

副詞節が表す意味(「もし～ならば」、「(近い将来)～するときに」)から、まだ**その動作が起きていないこと**や、これから**その動作が起こる(発生する、生まれる)**ということなので、

動詞の一番元のカタチ＝**原形**で表現したことに由来する。

では何故、現在は**現在形**で表現するのか?・・・実はとても単純な理由!

- * 自動詞、他動詞の判別から「副詞節」を見抜く

自動詞・・・それだけで意味が通じるもの、情報が十分であり聞き返す必要がない動詞

↳直後に**前置詞**が来る

他動詞・・・それだけで意味が通じないもの、情報が不十分で聞き返す必要がある動詞

↳直後に**目的語(名詞)**が来る

《助動詞 will に隠された意味》

*助動詞 will の意味が本当に「~でしょう、~する予定だ」(弱々しい意味)なのか?

結婚式で神父さんが花嫁に問いかけました。

神父 : Will you take Ken to be your husband?

(あなたはケンを夫とすることを誓いますか)

花嫁 : I will.

(・・・夫とするでしょう[する予定です])

花婿 : ・・・

*will を使った、有名なことわざを確認しよう

Where there is a will, there is a way.

(意志あるところに、道は存在する=精神一到何事か成らざらん)

*名詞の will にはこんな意味も含まれる(力強い意味)

1. 意志 2. 決意 3. 命令 4. 遺言 5. 願望

※参考書で分類されている will の意味

1. 意志 「~するつもり」

I will call her tonight.

(私は彼女に今夜電話するつもりだ)

2. 推量 「~するでしょう」

The paint will be dry in an hour.

(そのペンキは1時間で乾くだろう)

・・・実は100%の自信がある場合に使用する。自分の気持ちなので根拠が無くても可

3. 習慣・習性 「~する習慣・習性がある」

The wise man will profit from his mistakes.

(賢人は過ちから成功をつかむ)

4. 拒絶(否定文で)「絶対~しない」

The baby won't eat anything.

(赤ん坊は決して何も食べようとしない)

will は「必ず~する」だけで実は全て解決する。will の意味を細かく分類しなくても、むしろ分類しないほうが自然と上手く訳せる場合が多い

A series of 30 horizontal dashed lines spanning the width of the page, intended for writing or drawing.

≪ 法助動詞と代用動詞その 1 ≫

* must(法助動詞)と have to(代用動詞)の使い分け

中学英語では **must** の言い換えは **have to** と学習したが、実は場面や状況により使い分ける必要がある。この講では助動詞とその助動詞の言い換え表現を復習しながら、使い分けのルールを身につけてもらいたい。

例)

毎日タバコを吸っているせいで特に最近息苦しくなり思わず・・・

I must stop smoking from now.

医者から陰影のある肺のレントゲン写真を見せられて思わず・・・

I have to stop smoking from now.

must の場合は、**主観的(自分の気持ち、考え)な義務**が表われており、

逆に **have to** では**客観的(他者の気持ち、考え)な義務**が表現されている

* must と have to の意味

must の意味

①義務「～しなければならない」

I must go at once.

(すぐに行かなければならない)

②推定「～に違いない」

She must be sick.

(彼女は病気に違いない)

have to の意味

①義務「～しなければならない」

I have to go to work now.

(もう仕事に行かなければならない)

②推定「～に違いない」

This has to be a mistake.

(これはきっと間違いに違いない)

※高校英語では「義務」以外に「推定」の意味も頻出なので注意しよう

Ruled lines for writing.

≪ 法助動詞と代用動詞その 2 ≫

* 「未来 / 予定」、「習慣」の法助動詞と代用動詞の使い分け

	主観的(法助動詞)	客観的(代用動詞)
義務	must	have to
未来 / 予定	will	be going to
習慣	would	used to

will も法助動詞なので主観的な意味となり、この主観的な意味には次のようなものが含まれる・・・単なる個人的な予測・瞬時に思い付いたこと

例)

電話が鳴り、自分が電話に出る時には・・・

I will answer it.

※電話に出ることは、電話が鳴った時点での思いつき(瞬時)であるから will を使う

雨雲が広がり始め、今現在の風の強さから察するにもうすぐで雨が・・・

We are going to have a shower soon.

※雨雲や風という客観的な事実がある。be going to は代用表現なので客観的で、現在の兆候に基づいた予想や、もう予定として決まっていることに使用する will の場合も、主観的な意味が表われており、be going to でも客観的な意味が表されてされている

would と used to の違いも考えてみよう

例)

We would often have coffee together after the hard working.

「私たちは大変な仕事の後に、よく一緒にコーヒーを飲んだものだった」

※would は法助動詞なので 主観的であり、昔を回想する気持ちが強い

I used to drink coffee, but I don't like it any more.

「私はよくコーヒーを飲んだけど、もうコーヒーは好きじゃない」

※used to は代用表現なので 客観的であり、客観的であるからこそ過去と現在を客観的に対比することが可能となる

両方とも「昔はよく～したものだ」という習慣を表す意味となる。used to は過去と現在の対比が可能となる。一方で would には過去と現在の対比が不可能となる

A series of 30 horizontal dashed lines spanning the width of the page, providing a template for writing.

